

2024年度研究助成事業「指定課題研究」テーマ

	テーマご提案	目的・問題意識	期待される成果等	テーマに関連するキーワード
1	誰一人取り残さない健康づくりの展開	「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」において、17のゴールと共に国連で採択された原則が「誰一人取り残さない（leave no one behind）」である。2024年に始まる健康日本21（第三次）においても「誰一人取り残さない健康づくりの展開」が掲げられた。これが理念や目標に留まらず、実際の施策や取り組みとなり、成果をあげることが期待されている。	個人を取り巻く社会環境の整備を通じた「健康格差の縮小」を実現する必要性は対策、それらのうち効果が期待できるものは何か、実証的な成果が得られることを期待する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に健康になれる環境づくり ・誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備 ・ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり
2	地球環境に配慮した保健医療に関する研究	気候変動の加速や生物多様性の損失等により、パンデミックなど感染症リスクの増大、自然災害の増加、熱中症等、様々な健康への影響がもたらされており、その解決が喫緊の課題になっている。 また、地球環境への負担の大きな医療活動は、地球環境悪化に加担することで将来世代の生存リスクを増大する結果、現代世代と将来世代の間の健康格差を拡大させることとなる。しかし、医療活動がどの程度地球環境に影響を及ぼしているかを評価するための情報基盤や測定手法は限られている。さらに、環境と保健医療の双方に利益の大きな活動モデルやその効果に関する知見も限られている。そこで、環境に配慮した医療活動に資する基礎的・応用的研究の推進が期待される。	地球環境の健康への影響を評価するような研究や、データや理論に基づくSDGsの推進、とりわけ医療産業分野の貢献に資する研究が期待される。	気候変動、生物多様性、大気汚染、プラネタリーヘルス、ワンヘルス、環境に配慮した保健医療活動の推進、医療の自然環境負荷の推計
3	保健医療分野のデジタルトランスフォーメーション	従来の医療科学は過去のデータを事後的に分析することで、医療はどう「ある」のかを研究してきた。データ整備や活用が進むなかで、医療をどう「する」のかに貢献する医療科学が求められるようになってきている。その象徴が、データ蓄積ではなく、その活用によるイノベーションDXである。保健医療分野におけるDXについて、その要件や可能性、具体的な事例について示すことは、今後のDXについて推進に寄与すると思われる。	保健医療分野におけるDXの理論的、具体的な事例研究や、それらを支援する政策や課題についてあきらかにすることで、保健医療分野におけるDXを加速することが期待できる	DX（デジタルトランスフォーメーション、ビッグデータベース整備と活用、データサイエンス、AI（人工知能）、シミュレーション